

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和2年 6月 23日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住所 愛知県碧南市港南町二丁目 8番地 12	
氏名 アイシン辰栄（株） 取締役社長 平松 淳	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0566-48-7000	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	アイシン辰栄株式会社 衣浦工場
事業場の所在地	愛知県碧南市港本町4番地23
計画期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	輸送用機器器具製造業
②事業の規模	売上高 10,695.9 百万円
③従業員数	138人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・排水汚泥：遠心分離後乾燥し、処理業者へ委託して混練後原材料 ・廃プラ：処理業者へ委託し、破碎後 RPF ・塗料カス：破碎後天日干しし、処理業者へ委託して焼却後原材料 ・木くず：処理業者へ委託し、破碎後燃料 ・蛍光灯：処理業者へ委託し、破碎後原材料

(第 2 面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
全社環境管理部署
|
工場長 (産業廃棄物責任者)
|
技術員室課長 (マニフェスト管理者)
|
技術員室 (マニフェスト担当者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状	【前年度 (令和 1 年度) 実績】					
	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラ	塗料カス	木くず	蛍光灯
	排出量	4480 t	24 t	54 t	0.1 t	0.1 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥、塗料カスの乾燥 全工程にて不良低減 塗装工程にて塗着効率の向上 薬品変更による汚泥発生量低減					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラ	塗料カス	木くず	蛍光灯
	排出量	3570 t	19 t	44 t	0.1 t	0.1 t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥、塗料カスの乾燥 全工程にて不良低減 塗装工程にて塗着効率の向上 薬品変更による汚泥発生量低減					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排水汚泥、塗料カス、廃プラ、木くずはそれぞれについて分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラを更に層別し、有価物としての引取りを目指す。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） —		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（ 令和1年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	排水汚泥	塗料カス
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	4416 t	27 t
	（これまでに実施した取組） 排水汚泥：遠心分離後、熱乾燥にて乾燥 塗料カス：破碎後、天日干し		
②計画	【目標】		

		産業廃棄物の種類	排水汚泥	塗料カス
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3519 t	22 t
		(今後実施する予定の取組) 排水汚泥：遠心分離後、熱乾燥にて乾燥 塗料カス：破碎後、天日干し		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
1 現状	【前年度（ 令和1 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラ	塗料カス	木くず	蛍光灯
	全処理委託量	64 t	24 t	27 t	0.1 t	0.1 t
	優良認定処理業者への	64 t	—	27 t	0.1 t	0.1 t

			処理委託 量					
			再生利用業者への 処理委託 量	64 t	24 t	27 t	0.1 t	0.1 t
			認定熱回収業者への 処理委託 量	—	—	—	—	—
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	—	—	—	—	—
		(これまでに実施した取組) 廃プラの分別を継続し埋め立て廃棄物をなくした 粘着性の高い塗料カスの不粘着化により埋立て廃棄物をなくした						

(第5面)

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラ	塗料カス	木くず	蛍光灯
	全処理委託 量	51 t	19 t	22 t	0.1 t	0.1 t
	優良認定処理業者への処理委託 量	51 t	—	22 t	0.1 t	0.1 t
	再生利用業者への処理委託 量	51 t	19 t	22 t	0.1 t	0.1 t
	認定熱回収業者への処理委託 量	—	—	—	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	—	—	—	—	—

		(今後実施する予定の取組) 廃プラの更なる分別を行い、有価物としての引取りを目指す。
※事務処理欄		